

卒業制作演習(IT) 初回ガイダンス

1. 教科概要

教科名称	授業形態	単位数	コマ／週	対象クラス	教科概要
卒業制作演習(IT)	演習	14	7	IE4A/IE4B SK3A SE2A	チーム制作を通じ、システム開発運用業務に必要な実践的かつ専門的な能力を育成する。

2. 担当教員について

クラス	学生数	教室	曜日	時限	担当
IE4A IE4B	30 32	3201/ 3202	月	2	内山・加藤
				3	森・杉原
				4	
			木	3	田中(信)・森
				4	
			金	3	内山・森
				4	
SK3A	37	3203	月	2	森
				3	辻川
				4	
			木	3	辻川
				4	
			金	3	朱
				4	
SE2A	25	3601	水	1	杉原
				2	
				3	
			金	1	伊藤
				2	
				3	森(智)
				4	

※ 敬称略

3. 教科目的

ビジネスシーンを想定し**チームごと**の共同作業を行い、専門学校で培った能力を最大限発揮して学生生活の集大成としての作品制作を目的としています。

4. チーム編成について

学生数名（**3人～6人程度まで**）を1グループとし、2年間～4年間の集大成として、システム開発（システム設計～プログラミング～デバッグ～作品発表）を体験させます。開発対象（テーマ）、開発言語（アプリケーション）は任意としますが、**卒業制作に適した制作を行うようしてください。**

5. 成績評価

（1） 評価方法

評価割合は**課題点 80%、平常点 20%**とします。

$$\text{提出評価} \times 20\% + \text{作品評価} \times 40\% + \text{個人評価} \times 40\% = \text{課題点}$$

（2） 評価基準

① ドキュメント類

ドキュメント類は、以下リストの作成物をもって評価を行う。

システムにより不要なドキュメントがある場合は不問とする。

教科名称	必須ドキュメント	発表資料
卒業制作演習(IT)	企画書 WBS ユースケース図 システム全体図 機能一覧表 画面遷移図 画面デザイン ER 図	企画プレゼン資料 最終成果発表資料
卒業制作演習(SE)	アイデアまとめシート WBS システム全体図 機能一覧表 画面遷移図 画面デザイン	企画プレゼン資料 最終成果発表資料

※画面遷移図、画面デザインはモックアップまたはワイヤーフレームでも可とする。

※不要なドキュメントがある場合は、提出物にその旨を記述しておくこと

② プログラミングデータ等

作品のプログラミングデータを制作物ごとに整理して提出してください。Git で管理しているプロジェクトでもその時点のプロジェクトデータをダウンロードして zip 化して提出をお願いします。

※リモートリポジトリがどのタイミングで変更・削除されるのつかめない為

※学外や仮想マシンなどを使用した環境の開発は、環境を再現できるように手順書または、Docker ファイルやイメージなどを提出すること。

③ 作品評価

本カリキュラム終盤、授業内での作品発表を実施します。各チームのプレゼンテーションや制作物を教員が評価します。

④ 個人評価

個人評価は、チームメンバーがお互いに相互評価を行いその内容をもとに評価を行います。

6. 全体スケジュール

別途、ガントチャート参照

7. 企業連携について【予定】

卒業制作演習の企業連携は、計 3 回で実施する予定です。

- ・企業メンター 1 回目
- ・企業メンター 2 回目
- ・選抜発表発表会

※SE クラスは、最終の成果発表時の 1 回のみです。

(1) 11/1(金) 企業メンター 1 回目

企画およびシステム構成・機能選定時に実施予定。

システム全体の環境や技術選定などのアドバイスをいただく予定。

(2) 11/29(金) 企業メンター 2 回目

製造期間の中頃に実施予定。

現状法億と製造時に発生した困り事や企業視点のアドバイスをいただく予定。

(3) 1/31(金) 選抜成果発表会

最終週に「選抜成果発表会」の実施を予定しています。

プレゼンテーション＋デモンストレーション形式で卒業制作の成果発表を行う。

時間の都合上、全チームではなく授業内成果発表会で実施したチームから

代表を選抜して実施予定。

※SE クラスは 1/31(金)に全チーム実施

8. データの提出について

■提出物

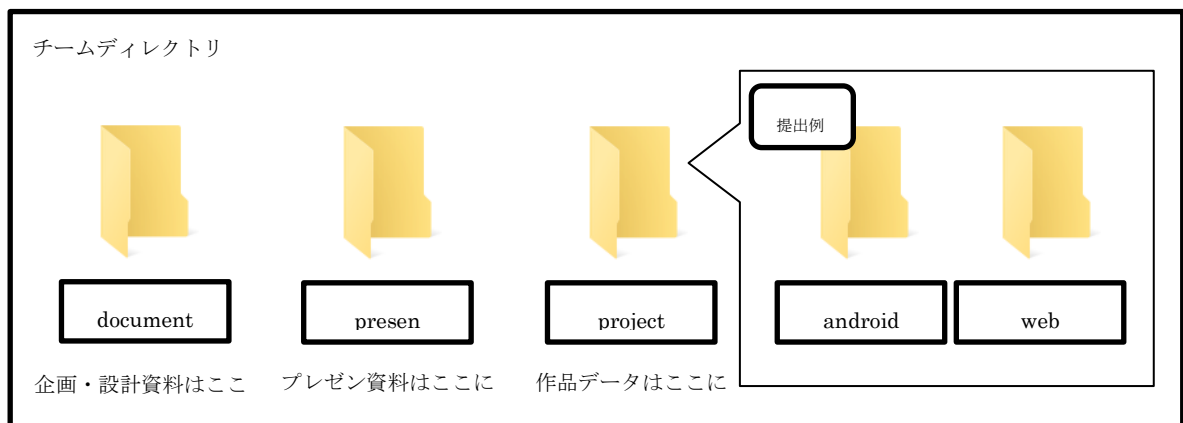
各チーム共通して下記ファイルは提出すること

1. 企画書 形式：PDF ファイル
2. 設計書類資料 形式：自由
3. スケジュール 形式：WBS を PDF ファイルして提出
4. プレゼン資料 形式：自由
5. 作品データ 形式：プロジェクトごとにフォルダ分けて提出
6. 環境再現手順書 形式：自由

●データ提出場所

¥¥sv23¥提出 24¥IT¥チーム制作¥卒業制作演習(IT)¥チームディレクトリ

●提出物ディレクトリ ※プロジェクトファイルは zip 化すること



●注意点

・提出データは、他 PC 等で再現可能な状態にしておくこと

Android、サーバサイド、データベースなど、他 PC で作業データが確認できるように再現できる状態にしておくこと。特にデータベースの構築情報と再現データは必ず提出し、特定の人しか操作や再現が出来ない状態を避ける

・著作権には注意すること

画像データや、その他ファイル類全てにおいて著作権侵害とならないよう、各チームで注意を払うこと。

9. 卒業制作に適した作品（最高学年が目指す目標）

■過去の制作作品や後輩を追従させない作品

今まで習得した技術や知識を駆使して作成する。

在学中の最後の作品制作となることを意識して集大成として ECC EXPO に出展を目指す。

世の中を驚かせるような作品。